

「肺炎入院患者における糖代謝異常の臨床像に関する後ろ向き解析」

○研究の概要

肺炎については、糖尿病患者で重症化するとの報告があり、肺炎の治療や病態でも糖代謝を悪化し、入院患者で糖代謝異常の治療をする機会が多くなります。の蔓延で、様々な医療機関で外来トリアージや肺炎患者の入院診療を行なっています。しかしながら、肺炎入院患者の糖代謝異常の臨床像についての疫学は限定的であります。入院患者における糖代謝異常の臨床像を明らかにするため、糖尿病の合併頻度や入院中の糖尿病の治療状況を調査し、臨床データを後ろ向きに解析行なっております。

尚、研究に関係する全ての医師は、厚生労働省の示している「臨床研究に関する倫理指針」に従って本研究を実施します。また、いかなる場合においても、研究に参加した患者の氏名、住所などプライバシーに関わる事項は一切公表することはありません。

○研究の目的と方法

通常診療より得られる下記のデータを抽出します。  
患者の臨床情報、糖代謝指標、糖尿病の治療内容、肺炎の重症化指標、治療内容

○本研究の参加について

これにより患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は個人が特定されない形で厳重に行います。本研究にご自身のデータの使用をご希望されない方、あるいはご質問等おありの方は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

○調査する内容

入院歴のある肺炎患者さんのカルテの臨床データ

○調査期間

研究期間：2021年6月8日～2021年12月31日  
(調査対象期間：2020年4月1日～2021年5月31日)

○研究成果の発表

学会、論文などでの発表を予定しています。

○研究代表者

糖尿病・内分泌内科 医師 小野 恵子

○当院における研究分担者

糖尿病・内分泌内科  
豊永 哲至 院長、狩場 佑一 医師、蓑田 理彦 医師、ニノ村 聖 医師

○問い合わせ先

菊池郡市医師会立病院 糖尿病・内分泌内科 医師 小野 恵子  
電話 0968-24-5112